

# 青少年だより かけ橋

令和3年度 第3号 <6月発行>

音更町教育委員会

## 子どもたちの自転車事故をなくすために

今年、自転車デビューした子どもたちにとって、今の季節は、ようやく自転車の運転に慣れてきた頃かもしれません。しかし、慣れてきた頃こそ油断は禁物です。自転車は便利で楽しい乗り物ですが、普段からどんなことに注意して乗るべきなのかを、早い段階からしっかりと教えてあげる必要があります。

ブレーキをかけるタイミングが遅れたり、スピードを出し過ぎていたり、前後左右をよく見ずに運転していたりと、小さな子どもたちほど、その事故の原因は、自転車を運転する上での基本事項を守らないことで起こる、出会い頭事故が最も多いといわれています。

特に、自転車に乗り慣れてくる頃になると、ここは普段からほとんど自動車がない場所だと勝手に思い込んでしまい、後ろから向かってくる自動車さえも気がつかずに道の真ん中を走行したり、突然逆走したりします。子どもたちのこのような思い込み運転は、たいへん危険です。自転車に乗る上で、どのような場所、どのようなケースが危険なのかを、子どもたちと一っしょに考えてあげましょう。

子どもが自転車事故を起さないようにするためには、**自転車に乗る際のルールや注意点をしっかり理解させることが第一です。**「交通安全教室」(警視庁)で紹介されている「自転車運転安全利用五則」を、今一度、子どもたちと一っしょに確認しましょう。

- ① **自転車は車道が原則、ただし、歩道は例外規定に応じて通行可**  
ただし、小さなお子さんや高齢者が車道を走行することは危険です。そのため、運転者が13歳未満、又は70歳以上、または歩道を自転車通行することがやむを得ないと認められる場合などは、歩道も走行が可となっています。
- ② **車道を走るときは左側走行、車道での自転車の右側走行は事故の確率が上昇します**  
巡視中にも時々右側走行している子どもたちを見かけます。注意しましょう。
- ③ **歩道を走るときは歩行者優先で、車道よりを徐行する**  
歩道を走るときは、歩行者に十分に気をつけましょう。
- ④ **安全ルールを守る**  
安全確認、信号遵守、並進禁止、二人乗り禁止、夜間のライト点灯、飲酒運転禁止です。
- ⑤ **子どもはヘルメットを着用する**  
13歳未満の子どもの自転車運転、幼児を幼児用座席に乗せるときはヘルメット着用を。

青少年の悩みことは青少年係へ

電話 0155-42-5855 平日 8:45~17:30

## 「絶対にしてはいけない危険な自転車運転」

暖かい日差しを感じる季節になりました。そして、巡視中においても、公園や住宅街などで自転車を楽しそうにこぐ子どもたちの姿を、たくさん見かけるようになりました。

子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿は微笑ましい限りですが、時として、危険が伴う運転を見かけることもあり、特に巡視中においては車から声を掛けて指導することがあります。



そしてその多くは、右側走行や複数の子どもたちによる並列走行、そして、スピードの出し過ぎや、道の真ん中を左右や後方を十分に確認せずに横切る、などです。

下校してから公園に向かう途中など、小さなお子様も自転車に乗る機会が多いと思います。どのような自転車の乗り方が危険なのかを、今一度、教えてあげましょう。

- ① 飛び出し…見通しの悪い場所は必ず止まって左右の安全を確かめましょう。
- ② 信号無視…安全確認をしっかりとしましょう。
- ③ スピードの出し過ぎ…他人とぶつかってケガをさせることがあります。
- ④ 横に並んで走らない…他の人や車のじゃまになります。
- ⑤ 二人乗り…禁止されています。
- ⑥ 片手運転、手放し運転…バランスを崩すと大変危険です。
- ⑦ ななめ横断…前や後ろから来た車とぶつかることがあります。
- ⑧ 傘をさしての運転…視界が悪く、片手運転になります。
- ⑨ 前を走行する自転車との間が狭い…前の人と衝突する原因になります。

## 「スマートフォンのフィルタリングの活用について」

スマートフォンは便利な道具ですが、幅広い年齢の子どもたちに普及したことにより、トラブルに巻き込まれるケースが全国で後を絶ちません。トラブルを未然防止するためには、保護者の方による様々な管理の徹底が求められています。

そこで音更町では、各社が提供しているフィルタリング・サービスを、お子様の成長に合わせてしっかりと話し合いながら選定し、活用することを推奨しています。

主な機能は、以下の通りです。なお、サービスの内容は、携帯電話会社や、機種によって異なりますので、設定する際は各契約会社窓口にお問い合わせください。

### フィルタリングを実施することで可能になるサービスの例

- ① お子さんの検索履歴を確認できます。
- ② お子さんの利用時間帯に制限を設定できます。
- ③ お子さんの通話履歴を確認できます。
- ④ ウェブ・アプリにフィルターを設定できます。  
⇒お子様の成長に合わせて制限する範囲の変更が可能です。  
⇒設定後は制限対象のサイトにアクセスしても見られなくなります。
- ⑤ お子さんが今どこにいるのかを地図と住所で確認することができます。
- ⑥ 家族でお互いの居場所をマップで確認したり、居場所を通知したりできます。